

主体的・対話的に学びを深める生徒の育成

高野中で育てたい力

知識・技能

表現力

主体性

庄原市立高野中学校 第1学年 音楽科学習指導案  
題材名：日本歌曲のよさや美しさを感じ取り、歌唱表現を創意工夫しよう

庄原市立高野中学校  
指導者 久保田園子

1 日 時 令和7年7月3日（木）第2校時、令和7年7月10日（木）第4校時

2 学 年 第1学年（男子3名、女子8名 合計11名）

3 場 所 音楽教室

#### 4 題材について

##### (1) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領（平成29年告示）音楽に示された内容のうち、第1学年「A表現」（1）歌唱ア「歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。」、イ（ア）「曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること。」、ウ（ア）「創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けること。」を基に設定した。

教材曲として「浜辺の歌」を取り上げる。本教材は、歌唱共通教材として選ばれ、長きに渡って親しまれている。平易な旋律をもつ楽曲で叙情的な歌詞の内容をイメージしやすい。またこの楽曲は、簡易な（a -a'）（b-a'）から成る二部形式であり、aの旋律をどのように創意工夫するのか、サビの部分であるbの箇所に着目してどのように盛り上げるのか等、旋律の特徴から多様な表現を考えることができる。また、この教材は有節歌曲である。同じ旋律を繰り返す中にも、歌詞の相違から多様な世界観を感受しやすく、生徒一人一人のイメージによってより豊かな表現を行うことができる。

生徒が旋律の特徴や歌詞の情景からイメージしたことに基づいて、思いや意図をもって歌唱表現を工夫しながら歌うことができる教材曲であることから、本題材の学習における生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を「旋律」と設定した。

##### (2) 生徒観

歌の授業についてのアンケート結果から、「授業で歌うことが好きだ」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に答えた生徒は80%だったが、20%は否定的であった。また、「自分なりの歌い方を工夫する活動は好きだ」という質問に対し、50%の生徒は「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と否定的に回答した。また、「どう歌うかについて、自分で考えて活動できる時間をもっとあるといい」という質問には、80%の生徒が否定的であった。さらに、60%の生徒が教師の指導を頼りとしていることが明らかになった。これらのデータから、生徒は音楽の授業で歌う活動の楽しさを感じている一

方、自分で考えて歌う活動や、思いや意図をもって歌唱する活動に対し、十分に良さを実感できていないことが分かる。また、「既習曲をどんな感じの曲なのか、歌詞から説明することができる」では50%の生徒が、「既習曲をどんな感じの曲なのか、音楽の構造から説明できる」という質問では60%の生徒が否定的に回答した。この結果から、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解すること、つまり音楽科で育成すべき知識が十分に習得できていない生徒が多くいることが分かった。

音楽科で育成を目指す知識や技能は、歌唱表現を創意工夫する過程で習得すること、また、様々な表現を試す過程で思いや意図が深まることから、創意工夫する過程を充実させることが必要であると考へた。創意工夫する過程を充実させるためには、学習指導要領に示されているように、音や音楽によるコミュニケーションと言葉によるコミュニケーションの往還を充実させ、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることが必要である。

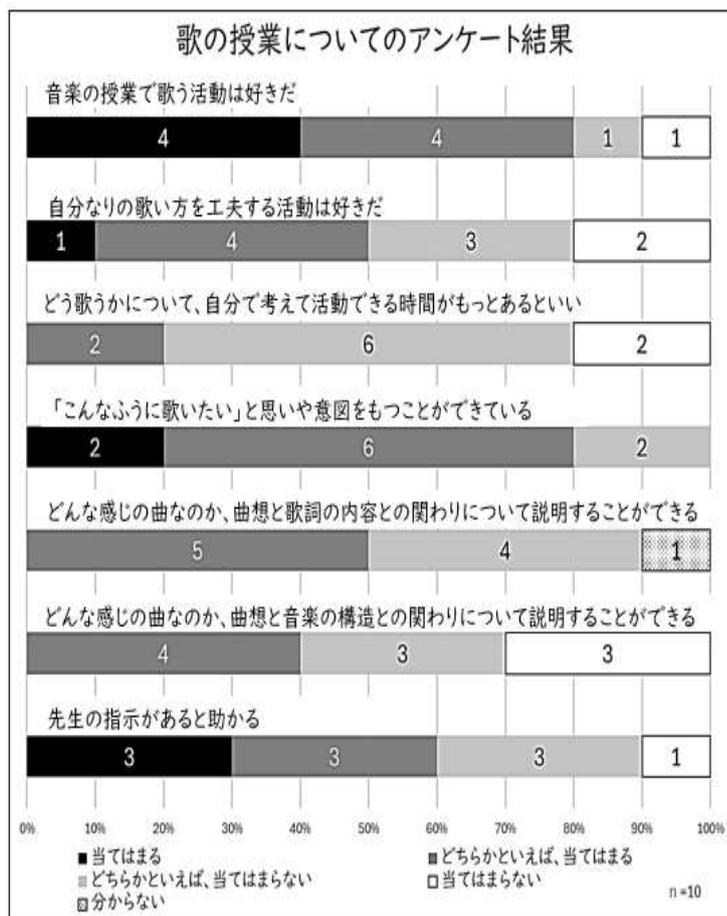
また、アンケート結果から、指導者の指示を頼りとしている生徒も一定数いることが分かった。このことから、「間違っていたら」という不安な気持ちを軽減するための工夫も必要だと考へた。

### (3) 指導観

創意工夫する過程を充実させるためには、「旋律」に着目させやすくする工夫が必要である。その手立てとして、リトミックスカーフを取り入れる。リトミックスカーフによる身体的表現活動は、感じ取った音楽の雰囲気や表情から音楽の特徴を捉えることができ、旋律の特徴に着目させるために有効であるとする。

また、曲想と音楽の構造との関わりについて説明することに苦手意識をもつ生徒が一定数いることから、音楽科の特質に応じた言語活動を促す工夫も必要であるとする。歌唱表現を創意工夫する一助として、カードを用いることとする。カードは、音色のバリエーション（悲しい声、切ないように等）と表現のバリエーション（言葉をはっきりと、デクレシェンドの終わり方は等）の2種類を準備し、生徒が音や音楽によるコミュニケーションと言葉によるコミュニケーションを往還させながら表現を試すことができるようにする。あわせて、ワークシートには、感じ取ったことや聴き取ったこと等を自由に書き込みやすく、生徒相互が見比べてその違いを捉え話し合うことができるよう、シンプルな形式を採用する。

さらに、音や音楽によるコミュニケーションと言葉によるコミュニケーションの往還を充実させたり、生徒の心理的安全性を高めたりするために、ファシリテーション基礎スキル（①場づくり、②グループサイズ、③問い、④見える化、⑤プログラムデザイン）に基づいた展開を取り入れる。ファシリテーション基礎スキルとは、参加型の場を創るファシリテーションのスキルを、中野民夫が五つに整理したものである。ファシリテーション基礎スキルを用いた実践では、人と話すことの楽しさを感じ、参加者のコミュニケーションに対する苦手意識が薄らぐことが分かっている。本題材では、この考え方に基き展開を構想する。具体的には、①場づ



くりとして、常時活動（オープンtutti）を設定したり、③問いとして、共通体験を促す問いを設定したりする。また、④見える化として、生徒の知覚・感受の言語化を支援するワークシートやカードを用いることとする。このような手立てを行うことで、安心感の中で、創意工夫する過程を充実させる学習指導が展開できると考えた。

## 5 題材の目標と評価規準

### 〈題材の目標〉

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。
- (2) 旋律を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。
- (3) 「浜辺の歌」の旋律が表す情景に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かにする。

### 〈評価規準〉

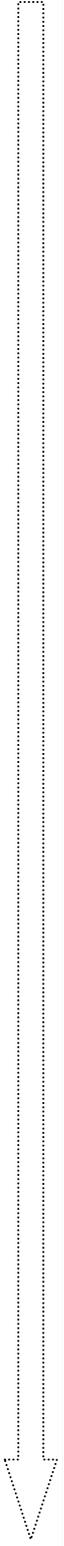
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b> 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。</p> <p><b>技</b> 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。</p>	<p><b>思</b> 旋律を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p><b>態</b> 「浜辺の歌」の旋律が表す情景に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

6 題材の指導計画（全2時間）

時	●ねらい ○学習内容 ・学習活動 ◎主な発問 ——音や音楽によるコミュニケーション ~~~~~言葉によるコミュニケーション	知・技	思	態
		〈 〉内は評価方法		
1	<p>● 歌詞の表す情景や心情及び曲想に関心を持ち、旋律の特徴を捉え、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。</p> <p>○ 常時活動を行い、授業への参加をスムーズに導き、仲間とのつながりをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープン tutti を用いてチェックインを行う。</li> <li>・ 「貨物列車」を取り上げ、<u>音楽に合わせてリトミックスカーフを動かしながら歌う。</u></li> <li>・ 既習曲を<u>歌う。</u></li> <li>・ 1番の歌詞で、旋律、リズムをつかんで<u>斉唱する。</u></li> </ul> <p>○ 歌詞の情景や心情を想像し、曲想に関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1グループ3人組をつくる。</li> <li>・ 範唱を<u>聴いてイメージしたことを自由に話し合う。</u></li> <li>・ 歌詞の表す映像を<u>視聴</u>し、歌詞の情景や作詞者の思いについて考え交流する。</li> </ul> <p>○ 旋律の特徴と歌詞の内容とを関わらせて歌う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">◎ どんな情景を感じましたか。</div> <p>○ 「浜辺の歌」が表す情景や心情を想像して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌詞の中から印象深い箇所を取り上げて、どうしてその箇所を取り上げたのか、どのように歌えば思いや意図が伝わるのか、グループで<u>話し合いながら歌う。</u></li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">◎ リトミックスカーフを使って、どんな波が描けそうですか。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>範唱に合わせて</u>リトミックスカーフを自由に動かす。</li> <li>・ 知覚したこと感受したこととの関わりについて考えたことを基に、6/8拍子の感じ方や旋律のつながり方、旋律のまとまりや伴奏の変化、二部形式を意識しながら<u>歌う。</u></li> <li>・ 旋律と歌詞の内容との関わりを意識して、<u>歌いながら</u>リトミックスカーフの動きを工夫する。</li> <li>・ リトミックスカーフ、歌唱音源、伴奏音源、ワークシート等を生徒が自由に活用し、グループで<u>話し合いながら歌い試す。</u></li> <li>・ 思いや意図を共有し、グループ内の<u>アドバイスを基に歌唱表現を工夫してみる。</u></li> <li>・ 思いや意図が具体的に考えられるように、ツールを使ってさらに<u>表現を工夫する。</u></li> </ul> <p>○ 本時の学びを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌詞の内容と旋律の関わりについて触れながら学んだこと振り返り、気づきを<u>ワークシートに書く。</u></li> </ul>			

知  
 〈観察〉  
 〈発言・ワークシート〉

〈観察〉  
 〈ワークシート〉



● 「浜辺の歌」を創意工夫して歌う。

- 常時活動を行い、授業への参加をスムーズに導き、仲間とのつながりをもたせる。
  - ・ 前時と同じグループに分かれる。
  - ・ オープン tutti を用いてチェックインを行う。
  - ・ 前時を想起して、リトミックスカーフ等を活用しながら、音楽に合わせて身体を動かしながら歌う。
  - ・ 作詞者、作曲者について知る。
  - ・ 前時に学習したことを想起しながら全体でリトミックスカーフを使って「浜辺の歌」を歌う。

◎ この曲の一番の聴かせどころはどこですか。

- ・ 再度全体で、歌いながら聴かせどころを確認する。
- どのように歌うかについて、歌い方を追求する。
  - ・ 前時と同じグループで、どのように歌うかについて歌い試しながら表現を工夫する。

◎ イメージした「浜辺の歌」を表現するには、どのように表現を工夫したらよいですか。

- ・ それぞれの工夫を生かして、リトミックスカーフを活用してグループで一つの作品に仕上げていく。
- ・ 自分たちがイメージしている表現になっているか、歌いながら意見を出し合い、さらに表現を練る。
- ・ イメージした表現となるように、発声、言葉の発音、身体の使い方などをいろいろと試す。
- 思いや意図をもって「浜辺の歌」を歌う。

◎ みんなだけの「浜辺の歌」を表現してみよう。

- ・ 他のグループの発表を聴き合い、意見交流を行う。
- ・ 意見交流した意見を基に、様々な表現方法でさらに歌唱表現を試してみる。
- ・ グループごとに創意工夫した歌唱表現を全体で発表し、気づきを共有する。
- 題材における学習を振り返る。
  - ・ 「浜辺の歌」を全体で歌い、学習全体を振り返り、歌詞の内容と曲想、音楽の構造に触れながら、学んだことをワークシートに書く。

図

〈観察〉  
〈発表〉

〈観察〉  
〈発言・ワークシート〉

〈観察〉

## 7 学習の展開

### 第1時間目

#### (1) 目標

歌詞の情景や曲想に関心を持ち、旋律の特徴を捉え、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて考える。

#### (2) 学習展開

	学習活動（・） 生徒の活動と予想される生徒の反応（○）	主な発問（◎） ◎	ファシリテーション基礎スキルとの関連 （◆） 指導上の留意点（▽） 努力を要する生徒への指導の手だて（▼）	評価規準 （評価方法）
導 入 （ 5 分）	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンtuttiを用いてチェックインを行う。</li> <li>「貨物列車」を取り上げ、音楽に合わせてリトミックスカーフを動かしながら歌う。</li> <li>既習曲を歌う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆▼ オープンtuttiを通して、全員が授業の参加者であることを実感できるように簡単な活動を共有する。</li> <li>▽ 既習曲「ふるさと」と同じく、「浜辺の歌」も我が国で長く親しまれてきた日本歌曲であることを確認する。</li> </ul>	
展 開 （ 4 0 分）	2 歌詞の情景や曲想に関心をもつ。	◎ どんな情景を感じましたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▽ 同じ旋律が繰り返される有節歌曲であることに気付かせる。</li> <li>▽ 歌唱や映像を通して、波の情景や歌詞について共有し、一人一人の感性を大切ににする。</li> <li>◆▽ グループづくりでは、日頃の様子や声量の偏りに配慮する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>範唱を聴いてイメージしたことを自由に話し合う。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 波を感じる      ○ そよ風みたい</li> <li>○ 流れてる感じ   ○ ゆったり</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>情景を表す映像を視聴する。</li> <li>1グループ3～4人組をつくる。</li> </ul>	◎ リトミックスカーフを使って、どんな波が描けそうですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆▼ ヒントカードを自由に活用できるように設定しておく。</li> </ul>	
	3 歌詞の中から印象深い箇所を取り上げて、どうしてその箇所を取り上げたのか、どのように歌えば思いや意図が伝わるのか、リトミックスカーフを使いながら話し合い、歌い方を考える。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「浜辺の歌」だから、浜辺を歩くイメージで歌いながら歩いてみよう。</li> <li>○ 強弱に着目してみよう。 ○ 旋律の動きに合わせてスカーフを動かすと、気持ちよい。</li> <li>○ クレシェンド、デクレシェンドいっぱいについているから、記号に気を付けて歌おう。</li> <li>○ 語りかけるように歌うと、情景を想像できそう。</li> <li>○ 大きくリトミックスカーフを動かすと、2拍子で感じ取るのが丁度いい。</li> </ul> </div>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>リトミックスカーフを活用して表現方法を考え、いろいろに表現方法を試す。</li> <li>歌唱音源、伴奏音源、リトミックスカーフ、タブレット、ワークシート、楽譜等、生徒が話し合いながら自由に選択しながら歌ってみる。</li> <li>4 グループの中で、自分の考えや思いを相談しながら試行錯誤する。</li> </ul>	<p>▽ 試し方を決めかねているグループには「どの部分を取り上げて考えますか」「どんなイメージをもって表現したいですか」など問いかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 印象深い箇所、こだわりを持って歌いたい箇所を取り上げて歌う。</li> <li>◆ イメージした表現を具体化させるために、視覚的ツールを活用し、自分にあった方法で表現を工夫してみる。</li> </ul>	<p>【知】 【思】 (授業観察・発言・ワークシート)</p>
<p>まとめ(5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思いや意図を共有し、グループ内のアドバイスを基に歌唱表現を工夫してみる。</li> <li>思いや意図が具体的に考えられるように、ツールを使ってさらに表現を工夫する。</li> </ul>	<p>▽▼ 考えた表現を自分自身で把握し、イメージしたことを基にグループで共有しながら、アドバイスや友達の表現の気付きから、さらに思いや意図をもつように促す。</p>	
	<p>5 イメージしていた表現になっているか、振り返り、全体で共有する。</p>		

- 大きいスカーフで波を表わして歌おう。
- もっとゆるやかな感じを表現したい。
- 大きく2つに揺れる感じで歌ったら、波に揺れる感じが出る。
- 懐かしむ感じの歌にしたいから、テンポはゆっくりで柔らかい声で歌うと雰囲気伝わってくる。
- 2番は、1番の時より恋しいような気持ちで歌いたい。

- リトミックスカーフを使いながら歌うと、歌詞との関わりから旋律の大きさや小ささを感じやすかった。そこから、波の様子が伝わってくる感じがする。
- 歌詞に注目して、歌詞に合う音色で歌うと浜辺を歩いているみたいに、気持ちよく歌えた。
- 柔らかい声で歌うと、昔を思い返している様子が表現できそう。
- 盛り上がる場所を力強く歌うことで、昔に寄せる気持ちの強さが表現できた。

- 振り返りを行い、学んだことをシートに記入する。
- 次時への見通しを持つ。

## 第2時間目

### (1) 目標

創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、思いや意図をもって歌う。

### (2) 学習展開

	学習活動（・） 主な発問（◎）と 生徒の活動と予想される生徒の反応（○）	ファシリテーション基礎スキルの導入（◆） 指導上の留意点（▽） 努力を要する生徒への指導の手だて（▼）	評価規準 (評価方法)
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンtuttiを用いて、「貨物列車」、「うみ」でチェックインを行う。</li> <li>1 前時を想起して、リトミックスカーフ等を活用しながら、音楽に合わせて身体を動かしながら歌う。</li> <li>・ 作詞者、作曲者について知る。</li> <li>・ 全体で歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆▽ オープンtutti を通して、全員が授業の参加者であることを実感させる。</li> <li>◆▼ 身体的表現活動を取り入れ、音楽の特徴を捉えたり、主体的に音楽へ関わったりできるようにする。</li> </ul>	
	<p>◎ この曲の一番の聴かせどころはどこですか。</p> <p>○ 全体で聴かせどころを確認し、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時と同じ、1グループ3～4人組をつくる。</li> <li>・ 前時の学習に関する簡単な質問に答える。</li> <li>・ リトミックスカーフ等を使って歌う。</li> </ul> <p>○ リトミックスカーフ使うと、旋律のまとまりが分かりやすい。</p> <p>○ フワフワして波の様子も想像しやすい。</p> <p>○ もっと大きくリトミックスカーフを動かすと、気持ちの高鳴りが表現できそう。</p> <p>○ 動くと、波や風の情景が伝わってきそう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆▽ 心理的安全面を考慮し、はじめは前時と同じグループで構成する。</li> </ul>	
	2 本時の学習活動の流れを確認する。		

展 開 (30分)	<p>3 曲にふさわしい歌唱表現を工夫する。</p>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◎イメージした「浜辺の歌」を表現するには、どのように表現を工夫したらよいですか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の学習に関する簡単な質問に答える。</li> </ul> <p>4 リトミックスカーフ等を使って歌ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの工夫を生かして、グループで一つの作品に相談しながら仕上げていく。</li> <li>・ 自分たちがイメージしている表現になっているか、歌いながら意見を出し合い、更に表現を練る。</li> <li>・ 他のグループの発表を聴き合い、意見交流を行う。</li> <li>・ 意見交流した意見を基に、様々な表現方法でさらに歌唱表現を試してみる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 波が寄せたり返したりする様子を想像しながらリトミックフカーフを動かすと、作詞者の昔の思いに共感できそう。</li> <li>○ 歌詞の内容に合わせてスカーフの動きを変えてみると音色も変わって面白いかも。</li> <li>○ 盛り上がる「b」の箇所では、もっとスケール大きく歌うために、息継ぎのスピードを考えて、休符でしっかりと歌う準備をすると気持ちよく表現できそう。</li> <li>○ しつとりと、語りかけるように歌うと懐かしい感じが表現できそう。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◎ みんなだけの「浜辺の歌」を表現してみよう。</p> </div> <p>5 グループごとに創意工夫した歌唱表現を全体で発表し、気付きを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分一人で歌うとしたらどのように歌いたいか、思いや意図をワークシートに書く。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「風の音よ～」を波が大きくなるように風にも強さが出るように表現してみるとか。</li> <li>○ 「月の色も 貝の色も」懐かしそうにゆっくりと歌ってみる。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 誰もが答えることができる質問にする。</li> <li>◆▽ 一人一人の思いや意図をもった表現を兼ね合わせながら、グループで一つの表現をつくれるように、視覚ツールを活用しながら共通理解を図る。</li> <li>◆▽ 一人一人の意見や問いが重要であることを意識させる。</li> <li>▽ 意見の交流が少ないグループには、「自分達が思う表現を明確に共有できていますか。」と問うなどし、試行錯誤を促す。</li> <li>◆ 思いや意図を具現化した表現を積み重ねながら、自分たちの表現を追求する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表から、多様な「浜辺の歌」の表現があり、こだわりのある歌唱の良さや魅力に気付かせるように促す。</li> </ul>

ま と め (10分)	6 全体で歌う。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発表から、多様な「浜辺の歌」の表現があり、それぞれの表現にこだわりがあって、聴いていて楽しい。</li> <li>○ 様々な「浜辺の歌」が想像できた。</li> <li>○ わたしたちにしかない「浜辺の歌」が歌えて嬉しかった。</li> <li>○ 本当は、もう少しゆったりと歌う方が歌詞の意味を十分に表現できるのかも。</li> <li>○ あまりにもゆっくり過ぎると、波が停滞して、気持ちも沈むから、ある程度の速さがこの曲には合っていると思った。</li> <li>○ 歌詞と音楽の仕組みを結び付けて、しっかりと考えて歌うことができた。</li> <li>○ 言葉と音楽の仕掛けから、私にしかできない「浜辺の歌」をじっくりと表現できた。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りを行い、学んだことをシートに記入する。</li> <li>・ 次時への見通しを持つ。</li> </ul>		

### (3) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">めあて</div> <p>どのように歌うかについて思いや意図をもち、創意工夫を生かして歌う。</p> <p>《浜辺の歌》 作詞 林古溪 作曲 成田為三</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 80%;">音楽を形作っている要素カード</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"><b>旋律</b></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">復習</div> <p>前時の課題を取り上げる</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">学習の流れ</div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 復習</li> <li>2. めあて</li> <li>3. 意見交流</li> <li>4. 表現工夫 (発表)</li> <li>5. 振り返り</li> </ol>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">歌詞の内容、情景、感情等</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> <p style="text-align: center;">生徒からの意見を共有する</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">まとめ</div> <p>感じたこと、気付いたこと等を共有する</p>